

社会福祉法人 中央共同募金会

平成24年度

年次報告書

じぶんの町を良くするしくみ。



2012-13

ANNUAL REPORT

Central Community Chest of Japan

赤い羽根の中央共同募金会

- 3 赤い羽根共同募金とは
中央共同募金会の目的と役割
沿革
- 4 平成24年度 主要事業の実施状況
 - イベント
 - 広報
 - 研修・会議
- 6 赤い羽根の災害時支援
災害時支援のしくみ
 - 災害ボランティア・NPO活動サポート募金
 - 災害等準備金
 - 災害義援金
- 8 企業・団体との連携
 - 企業や団体で取り組んでいただけること
 - 赤い羽根共同募金等への協力事例
 - 災害ボランティア・NPO活動サポート募金への協力事例
- 11 共同募金運動について
 - 共同募金運動の概要
 - 全国の共同募金運動の取り組み
 - 変わる、赤い羽根共同募金
- 15 地域の課題解決を目的とした
共同募金へ
テーマ型募金の取り組み
- 18 データ編
 - ・共同募金統計（募金編）
 - ・都道府県別 共同募金実績額
 - ・共同募金統計（助成編）
 - ・地域課題解決のための活動への助成例
- 22 中央共同募金会 概要
- 23 都道府県共同募金会一覧表



社会福祉法人
中央共同募金会
斎藤 十郎

平成24年度は東日本大震災の被災者支援に継続的に取り組むとともに、じぶんの町を良くする募金である赤い羽根共同募金運動をさらに活発にしていくための改革を推進した一年でありました。

東日本大震災の発生直後から被災地で立ち上げられた災害ボランティアセンターへの支援のほか、被災

地や避難先などで活動するボランティア・NPOのための支援金である「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」や義援金に関して、国内外から多大なご支援をいただきました。皆さまの善意が確実に被災地へと届けられていますことをご報告いたしますとともに、あらためて皆さまのご厚意に心より御礼申し上げます。

震災から2年が経過する中、この記憶を風化させることなく、被災地の一日も早い復興に向けて、共同募金関係者一同全力で取り組んでまいります。

平成24年度の共同募金運動は、災害により国民に広く「支えあいのしくみ」や「地域における社会連帯」の必要性が浸透してきていることや、この間、被災者支援事業を実施することにより多くの寄付が集まり、共同募金への信頼を得ることができました。また、全国の共同募金の実績は、191億円となりました。地域福祉活動の支援をはじめ、生活困窮や社会的な孤立への問題が社会全体に広がっている中、このような新たなニーズの解決に向けて取り組んでいる活動に対し、助成していく所存でございます。

共同募金にご寄付を賜りました市民の皆さまをはじめ、全国各地で共同募金活動にご参加いただいている募金ボランティアの皆さまに心より感謝を申し上げます。「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金は、市民共有の社会的財産として地域福祉推進を目指して、より一層役割を果たしてまいりたいと存じます。

赤い羽根共同募金は、「社会福祉法」に基づいた募金です



赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動としてスタート。当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に資金支援の機能を果たしてきました。その後、「社会福祉法」に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

65年を経て社会が変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援するしくみとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。災害時には、被災地を支援するしくみもついています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの活動を応援する「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

中央共同募金会の目的と役割

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会相互の連絡および事業の調整を行うことを目的とした連合会で、赤い羽根をシンボル*とする共同募金運動の全国的な企画、広報、調査研究等を行っています。

また、2つ以上の都道府県や全国的な視野で実施する募金や寄付金の受け入れ・調整、民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

中央共同募金会では、上記事業運営のための寄付金を随時募集しております。また、遺贈による寄付金も受け付けております。

共同募金会へのご寄付は、税制優遇の対象となります。

沿革

- 大正10(1921)年
 - ・日本の1都市で初めて共同募金運動が実施されたが、1年限りで終了
- 昭和22(1947)年
 - ・第2次大戦直後の窮乏した民間社会事業の財源確保のため、占領軍の指導により、中央・都道府県共同募金会が組織される
 - ・第1回共同募金運動が全国的に実施される
- 昭和23(1948)年
 - ・シンボルの赤い羽根が採用される*
- 昭和26(1951)年
 - ・社会福祉事業法が制定され「共同募金」は法律に基づき実施することになる
- 昭和34(1959)年
 - ・共同募金運動が、10月の1か月間から12月までの3か月間に延長される
 - ・「歳末たすけあい募金」も「共同募金」として実施する運動となる
- 昭和37(1962)年
 - ・全日空協力による第1回「赤い羽根・空の第一便」を実施
- 昭和57(1983)年
 - ・シール式の赤い羽根を採用
- 平成8(1996)年
 - ・50周年共同募金運動を実施
 - ・「21世紀を迎える共同募金のあり方委員会」から「新しい『寄付の文化』の創造をめざして」が答申される
- 平成12(2000)年
 - ・社会福祉法が施行され、共同募金の目的が新たに「地域福祉の推進」と位置づけられる
- 平成18(2006)年
 - ・共同募金運動60回目の運動を実施
- 平成19(2007)年
 - ・中央共同募金会企画・推進委員会から「地域をつくる市民を応援する共同募金への転換」が答申される
- 平成21(2009)年
 - ・インターネットを活用し、直接ふるさとの共同募金に寄付できる「ふるさとサポート募金」を実施
- 平成22(2010)年
 - ・「第1回赤い羽根全国ミーティングinくろべ」を開催
- 平成23(2011)年
 - ・東日本大震災の支援金「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」を創設
 - ・災害等準備金（赤い羽根共同募金の一部）により、被災地の災害ボランティアセンター等を支援
 - ・全国からの義援金を受け付け

*赤い羽根は、かつて欧米で勇気や善行の象徴でした。米国の共同募金会がシンボルとして使用したことにヒントを得て、日本でも使うことになりました。

イベント

平成24年度 街頭募金中央行事

10月1日、赤い羽根共同募金運動のキックオフイベントとして「街頭募金中央行事」を東京都千代田区の霞テラスで開催しました。

イベントには、西村智奈美厚生労働副大臣（当時）、ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリストの福原愛さん、NHK大河ドラマ「平清盛」出演俳優の石黒英雄さんと藤本隆宏さん、大相撲の浅香山親方（元魁皇関）、共同募金の助成を受けた白梅福祉作業所の皆さんをゲストに迎え、運動開始のセレモニーと街頭募金活動を行いました。

福原愛さんと齋藤十朗中央共同募金会会長



ご協力いただいたゲストの皆さん



助成を受けたNPOも参加

「赤い羽根空の第一便中央伝達式」

10月1日から全国一斉に展開される共同募金運動に先立って、9月28日に、厚生労働大臣室において、ANAグループ各社の協力を得て「第51回赤い羽根空の第一便中央伝達式」を実施しました。

小宮山洋子厚生労働大臣(当時)および本会齋藤十朗会長から、ANAグループ客室乗務員に伝達されたメッセージと赤い羽根は、客室乗務員により10月1日の一番機で全国の空港と到着地まで運ばれ、各地の共同募金運動で活用されました。



ANAグループ客室乗務員にも赤い羽根を

広報

平成24年度共同募金ポスター

ポスターには、赤い羽根共同募金のイメージを有効に活用するために複数のロゴマークを掲載し、「じぶんの町を良くするしくみ。」が地域に広がっていくイメージとしています。

ポディーコピーでは、共同募金は寄付した町の福祉活動に役立てられることと、災害時には、被災者支援にも役立つことを示しています。



広報

情報誌「赤い羽根」のリニューアル

共同募金に関する情報や地域の取り組みなどを、全国各地の共同募金会関係者に伝えるための情報誌「赤い羽根」をリニューアルし、年3回各6,500部発行しました。これまでどおり、本会が開催した会議やイベント情報を共有する記事とともに、初めて共同募金担当になった方を応援するコーナーをスタートし、担当としての必須の知識やノウハウ、現場でよくある問答についての実践例を掲載しました。



ウェブサイト・スマホサイトの運営

共同募金運動の広報・啓発を目的としたウェブサイト、市民に対して各地域の共同募金の使いみちをお知らせするための情報サイト、共同募金運動関係者向けのコミュニティサイトを運営し、各種の情報提供・共有を実施しました。また、スマートフォン用サイトを充実させ、人気イラストレーター坂崎千春さんの壁紙によるAndroid用募金アプリを設置しました。



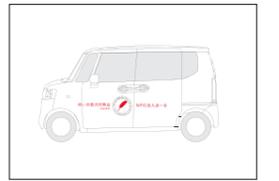
SNSによる情報発信

平成23年度から継続中の「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）公式Facebookページ」に加え、平成24年度は「ふるさとサポート募金（ふるサポ）公式Facebookページ」を開設。地域の社会課題について各地の担当者から旬の情報を提供しました。また、イベント時にUstream中継やTwitter中継を行うなど、SNSを活用した情報発信に努めました。



「赤い羽根共同募金デザインガイド2012」を作成

共同募金会の名刺、封筒、ポスター、助成車両などのデザインの共通ルールとして、「赤い羽根共同募金デザインガイド2012」を作成しました。赤い羽根共同募金の「見え方」を共通にしていくことで、コミュニケーションツールとしての効果が上がります。共同募金関係者に向け、共同募金コミュニティサイトに掲載しています。



研修・会議

「第3回赤い羽根全国ミーティング in 小浜」の開催

6月14～15日、全国共同募金会（共募）関係者、社会福祉協議会（社協）関係者が一堂に会して、日頃の取り組みや実践等について情報を共有し、共同募金の役割や可能性について話し合いました。全体会では「共同募金のこれまでとこれから」として、紫水の郷理事長の北岑武夫さん、小浜市議会議員の池尾正彦さん、中央共同募金会小林和弘副会長の3人が登壇し、日本

NPOセンター常務理事・事務局長の田尻佳史さんが進行を務めました。また、テーマ別にセミナーや分科会が開催され、講演やグループ討議を通じて、活発な意見交換がなされました。（会場 福井県小浜市アプロディール華双寿、参加者約320人）



comment
街頭募金に参加した福原愛さん
ロンドンオリンピック卓球・女子団体銀メダリスト

東日本大震災で厳しい避難生活を送っている方がたくさんいます。ぜひ一人でも多くの方に協力していただいて、私自身も一緒にがんばりたいと思います。



comment
第3回赤い羽根全国ミーティング実行委員
豊永 真誠さん
福井県 小浜市共同募金委員会

全国ミーティングを終えて

地元らしさを味わってもらおうと企画した「小浜道（WAY）」。「まちなかアート」に取り組む障がい者の作品を大会の看板に生かし、プレイベントでは特別支援学級生による落語公演を行いました。いずれも住民のニーズから生まれた事業です。大会終了後、アンケートに「今後に生かせる自信と勇気が湧いてきた」とあり、ホッとしました。職員の意識が変われば、取り組みも変わる。社協が変われば共募も変わる。信頼が高まれば募金も増える。そんな会議の成果であってほしいです。

災害時支援のしくみ



災害ボランティア・NPO 活動サポート募金 (ボラサポ)

被災地でがんばるボランティアやNPOを支えます

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)は、東日本大震災の被災地でボランティアやNPO活動を支援する“支える人を支える募金”です。これまでにがれき撤去や仮設住宅での見守り活動等、被災した方々を支える活動を助成してきました。

被災3県の共同募金会では、ボラサポの一環として平成24年度より地域の支え合い活動を応援する「住民支え合い活動助成」を始めました。使いやすい助成金と大変好評です。

ボラサポは財務省の告示により「特定震災指定寄付金」として認められており、募集期間は平成25(2013)年12月31日まで9カ月間の延長が決まりました。これからも支える人、支え合う人を支え続けていくために、皆さまのご支援を引き続きよろしくお願ひします。

ボラサポへの寄付総額 40億9,805万3,191円 (平成25年3月末現在)

1. ボラサポの支援状況 (平成25年3月末現在)

・ボラサポ助成団体数	のべ 2,197件 (第1～第9次累計)
・ボラサポ助成総額	25億2,093万円 (第1～第9次累計)
・ボラサポの助成を受けて活動した人数 (概数)	520万人
<small>参考：阪神淡路大震災ボランティア 約216万人『兵庫県ホームページ「阪神・淡路大震災一般ボランティア活動者数推計」』参照</small>	
・被災地の地元住民による助け合い活動などの住民支え合い活動	総額 1億3,045万円

2. ボラサポの助成を受けてできたこと | にじいるクレヨン (宮城県石巻市)

スタッフと学生ボランティアが週1回ペースで石巻市、仙台市、東松島市の仮設住宅を訪問し、さまざまなレクリエーション活動を行っています。多くの喪失や急激な変化を経験した子どもたちですが、今ではのびのびと遊ぶようになり、笑顔が見られるようになりました。これからも地域の方々と一緒に、子どもたちの居場所を創り、子どもたちを見守る活動を続けていきます。



子どもたちは「にじいろはいつ?」と活動日を楽しみにしています

3. スペシャルサポーター

ボラサポの趣旨に賛同し応援して下さる6人のスペシャルサポーターの方々をご紹介します。(五十音順)



池上 彰さん
ジャーナリスト



石川 さゆりさん
歌手



大日方 邦子さん
パラリンピック
アルペンスキー
金メダリスト



木村 多江さん
女優



多部 未華子さん
女優



福原 愛さん
ロンドンオリンピック
卓球・女子団体
銀メダリスト

スペシャルサポーターの皆さんからのメッセージをホームページに掲載しています。 URL <http://www.akaihane.or.jp/er/p10.html>



災害等準備金 (赤い羽根共同募金の一部)

被災地の災害ボランティアセンターを支えます

災害時に被災地を支援するために、赤い羽根共同募金の3%を災害等準備金として積み立てています。この資金をもとに、東日本大震災をはじめ九州北部や京都府での豪雨災害発生時に、被災地の災害ボランティアセンターの設置や運営等へ助成を行いました。



発災直後のがれき撤去活動

1. 東日本大震災の支援状況

東日本大震災は大規模で広範囲であることから、全国の共同募金会が拠出し、震災直後から2年間にわたり支援を行いました。

助成総額 8億8,243万215円

都道府県名	助成件数(件)	助成金額(円)
岩手県	27	323,527,214
宮城県	31	303,456,558
福島県	34	193,191,805
その他	57	62,254,638
合計	149	882,430,215

2. 九州北部豪雨災害・京都豪雨災害への支援状況

記録的な大雨となった九州北部豪雨災害や京都豪雨災害においても、当該共同募金会が災害等準備金を活用して、災害ボランティアセンターの立ち上げ支援を行いました。

助成総額 3,683万1,512円

都道府県名	助成件数(件)	助成金額(円)
福岡県	7	12,667,429
熊本県	3	12,040,000
大分県	3	10,124,083
京都府	1	2,000,000
合計	14	36,831,512



災害義援金

被災された方を支えます

赤い羽根共同募金会は、東日本大震災で被災された方々のための災害義援金を平成26(2014)年3月末まで受け付けます。ご寄付いただいた義援金の全額(100%)が被災自治体へ送金され、市町村行政が被災された皆さまへのお見舞い金としてお配りしています。

募金額 409億2,249万1,457円 (平成25年3月末現在)



災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援P) [事務局：中央共同募金会]

企業・NPOとの連携による支援活動

災害ボランティア活動支援プロジェクト(支援P)は、企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等によるネットワーク組織です。東日本大震災のほか、九州北部豪雨災害、茨城竜巻災害、京都豪雨災害の被災地での災害ボランティアセンターへ、人材派遣や資材の提供などの運営支援を行いました。

企業・団体との連携

共同募金会では、募金活動も含めて企業・団体と連携したさまざまな取り組みを行っています。
社会福祉法人中央共同募金会へのご寄付は、寄付金控除の対象となります。
詳しくは、本会発行の税制パンフレットをご覧ください。

企業や団体で取り組んでいただけること

企業のCSRに関わるプログラム

利益の一部を寄付
企業の利益の一部や、特定商品の売上の一部を寄付したり、寄付金つき商品を開発して販売したりする方法。赤い羽根のブランドを付与することで、販売促進にもつながります。



企業の本業を生かした寄付
クレジットカード会社が寄付金つき提携カードを発行したり、メーカーが自社製品を現物寄付したりする方法。企業の既存の資源を有効活用しながら社会貢献を行うことができます。

企業理念に即した寄付
企業の理念に合った特定分野を指定して寄付する方法。例えば、子ども向け製品を作っている企業が、児童福祉や子育て支援などのテーマを指定して寄付いただくことができます。

マッチングギフトによる寄付
社員から寄せられた寄付や、キャンペーンで寄せられた寄付に、企業として寄付を上乗せする方法です。社員や顧客との一体感を高める効果があります。

寄付・募金活動プログラム

募金箱を設置
店頭や受付に募金箱を設置し、顧客や出入業者の方々に広く寄付を呼びかける方法。身近な社会貢献の取り組みを、わかりやすくアピールいただくことができます。募金型自動販売機の設置もできます。

職場での募金活動（職域募金）
社内に募金箱を設置したり、社員の給与の端数や一定額を天引きするなど、社員の皆さまに職場での協力をお願いする方法。社員の方々の帰属意識や社会貢献意識の向上に効果的です。

イベント等での募金活動
社内外のイベントや展示会などをチャリティイベントとして実施し、参加者から参加費の一部などを寄付していただく方法。大震災以降、こうした取り組みへの関心が高まっています。

その他のプログラム

人材の派遣
募金活動や共同募金イベントなどに、社員をボランティアとして派遣する方法。地域によっては、共同募金会の運営や助成の審査に関わる委員として参画いただくこともできます。

媒体等の提供
掲示板、大型ビジョンなどの媒体を提供いただき、共同募金の広報に協力する方法。空いている媒体を有効活用しながら社会貢献を行うことができます。



赤い羽根共同募金等への協力事例



イオン×赤い羽根共同募金 各店舗ごとに多彩な取り組み

イオングループの協力による「イオン×赤い羽根共同募金」は、昭和58(1983)年に始まって以来、30年目を迎えました。

イオンの各店舗では、地域住民による街頭募金活動、10月1日の共同募金運動開始セレモニー、助成先の紹介の展示やステージ、チャリティバザーなど、店舗それぞれの多様な取り組みを通じ、多くのご寄付をお寄せいただき、30年間の募金実績額は2億円を超えています。寄付金は、各都道府県共同募金会を通じて、各地の地域福祉活動のために役立てられています。

イオン株式会社



給与天引きによる寄付+マッチングギフトで、社員が寄付先を指定

ライフサイエンス・化学分析機器や電子計測機器の販売・サポートを行うアジレント・テクノロジー株式会社(日本法人本社:東京都)では、平成18年度に、社員による職域募金プログラム「アジレント夢ファンド」を立ち上げました。社員が寄付先団体と寄付額を指定し、毎月の給与から当該寄付が天引きされるのとあわせて、社員の寄付に会社が同額を上乗せする「マッチングギフト」を提供するしくみです。

アジレント・テクノロジー株式会社



チャリティボウリングで、被災した障がい者施設を支援

エムケイ株式会社では、チャリティを目的としたプロボウリング大会「MKチャリティカップ」で集まった寄付金などを京都府内の障がい者施設などへ支援する取り組みを行っています。平成24(2012)年は、東日本大震災で被災した障がい者施設を支援するための寄付を行い、東北3県(岩手、宮城、福島)の共同募金会を通じて、被災した障がい者施設に助成されました。

また、同社では被災地の支援先を回る現地視察も実施し、被災の被害の大きさや長期にわたる支援の必要性を、現地で実感していただきました。

エムケイ株式会社



<赤い羽根共同募金等へのご支援ご協力 そのほかの企業・団休例> (50音順・敬称略)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、ヴイエムウェア株式会社、ANAグループ、株式会社オリエントコーポレーション、霞が関コモンゲート管理組合(新日鉄興和不動産株式会社)、関西遊技機商業協同組合、キーコーヒー株式会社、「クリーンライフみのりの箱募金」(全国クリーニング生活衛生同業組合連合会、株式会社文化放送)、有限会社saintarrow、株式会社セディナ、センティールワン株式会社、株式会社たまご、中外製薬株式会社、株式会社ティーツー、株式会社トゥ・ディファクト、東洋羽毛工業株式会社、一般社団法人日本パブリックビューイング協会、株式会社ネットマイル、認定NPO法人ハートフル福祉募金、パラマウントベッド株式会社、Hitachi 3tours Championship 2012、マニユライフ生命保険株式会社、株式会社丸八真綿販売、三井住友カード株式会社、三井不動産株式会社、三井不動産ビルマネジメント株式会社、三菱電機株式会社、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行「ボランティア普通預金」、電鉄各社(京王電鉄株式会社、京成電鉄株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、東京モノレール株式会社、東武鉄道株式会社)

このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力に感謝申し上げます。

災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)への協力事例



チャリティオークションや壁紙募金、ポイント寄付で協力

Yahoo!ボランティアでは、東日本大震災の復興を支援する「東日本大震災チャリティーオークション」を実施。また、壁紙購入やYahoo!ポイントによる募金でも、ボラサポをご支援いただいています。
平成24年度のチャリティオークションでは、プロ野球やプロサッカー選手のサイン入りユニフォームや、人気俳優、有名漫画家のオリジナル色紙など、多くの著名人や企業に出品協力いただきました。

Yahoo!ボランティア ・ ヤフオク!



企業市民として、中間支援組織と連携

武田薬品工業株式会社は、企業市民としての立場で、他セクターと連携したCSR活動を行い、東日本大震災支援においても積極的に中間支援組織と連携しています。

ボラサポへのご寄付では、平成23年度に本社からの法人寄付をいただき、平成23、24年度と続けて製薬本部から、事務用品などの不用品を再使用すると貯まるEARTHポイント®によるご寄付をいただきました。

※環境保護活動の一環で、不用品リユースを促進する社内制度により付与されるポイント

武田薬品工業株式会社



従業員募金+マッチングギフトに加え、株主にも呼びかけ

日本たばこ産業株式会社では、平成23年度にJTグループ従業員に対してボラサポへの寄付を呼びかけ、従業員の皆さまからの寄付額に同社が同額をマッチングしてご寄付くださいました。

また、株主の皆さまに対しても、平成23年度から株主優待商品の贈呈に代えて、ボラサポへのご寄付を選択肢に加えてくださったところ、多くの株主様のご賛同をいただくことができ、引き続き平成25年度も継続いただくことになりました。

日本たばこ産業株式会社



<ボラサポへのご支援ご協力 そのほかの企業・団休例> (50音順・敬称略)

アビームコンサルティング株式会社、ANAグループ、NTTドコモグループならびに社員有志一同、LVMHウォッチ・ジュエリージャパン株式会社、大阪ガスグループ「小さな灯」運動、家電エコポイント・住宅エコポイント、グンゼ株式会社、コーエーテクモホールディングス株式会社、生活協同組合コープみらい(旧:ちばコープ)、株式会社サンケイ、株式会社スミフル、ソフトバンクBB株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、株式会社損害保険ジャパン、財団法人通商産業福祉協会、株式会社日テレ アックスオン、ニュートンワークス株式会社、株式会社野村総合研究所、ビッシーボウズジャパン株式会社、富士産工株式会社、芙蓉総合リース株式会社、株式会社八木熊、株式会社ユナイテッドアローズ「united LOVE project 2012」、社会福祉法人読売光と愛の事業団、株式会社りそな銀行

このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力に感謝申し上げます。

共同募金運動について

共同募金運動の概要

募金総額 平成24年度	共同募金総額 190億9,869万711円
	赤い羽根共同募金 138億1,323万2,595円
	地域歳末たすけあい募金 46億4,848万2,868円
	NHK歳末たすけあい募金 6億3,697万5,248円

助成総額 平成24年度	共同募金助成総額 167億8,639万9,274円
	赤い羽根共同募金による助成 4万1,018件 118億7,741万8,631円
	地域歳末たすけあいによる助成 1万3,373件 42億9,967万7,145円
	NHK歳末たすけあいによる助成 3,356件 6億930万3,498円

注：赤い羽根など運動に要する経費は
23億1,229万1,437円

街頭募金の風景



愛知県

全国の共同募金運動の取り組み

一ツ橋中学校 地域支援 推進事業



「地域テーマ募金」で地域の皆さんと一緒に募金活動をして得た財源で、生徒と住民の交流を進める活動を実施し、文部科学大臣表彰を受けました。
(広島県/福山市立一ツ橋中学校ばーとなー本部)

外出が困難な 障がい児者との 日帰りの旅開催事業



列車を貸し切ることにより、フレンドシップツアーを実施できました。車内ではボランティアによるレクリエーションで盛り上がり、笑顔があふれる旅になりました。
(福岡県/田川市社会福祉協議会)

「そだちの広場」事業 (三輪車・画材等の 整備)



子どもの遊び場として無料で提供している「そだちの広場」の事業をより充実させるために、助成が大きな力になりました。
(宮崎県/次世代育成応援団やっど)

街頭募金の風景



新潟県

親子自然ふれあい 体験活動事業



助成により親子で触れ合えるキャンプを開催することができました。親子ともども自然の中でさまざまな体験をでき、とても楽しい事業になりました。
(鳥取県/打吹スポーツクラブ)

子育て情報誌 作成事業



子育てに一番必要となる、ごく身近な地域の情報を集めた情報誌作りが実現しました。新宮町で子育てすることが楽しくなるような活動を心がけていきます。
(福岡県/しんぐう子育てNAVI)

身障者・介護者 車いす対応送迎 軽車両導入事業



中山間過疎地域や老人福祉施設に出張美容に行くための福祉車両を助成していただき、利用者からは床が低く乗り降りが便利になったと喜ばれています。
(高知県/訪問理美容ネットワークゆうゆう)

見守りネットワーク 推進事業



高齢者の単身世帯が増加し、地域の助けを必要としている人たちが増えています。そんな中で、地域の見守り活動を支えていただきました。
(滋賀県/高島市社会福祉協議会)

九条子ども文庫 活動費



イベントの実施やボランティア学生の受け入れなどにより、子どもや保護者の交流の場として大勢の方に足を運んでもらえるようになりました。
(京都府/九条子ども文庫)

障がい者 自立・就労支援 「多目的電気乾燥庫 を使用して」



購入した多目的電気乾燥庫によって管理時間の設定が簡単になり、入所者が効率よく作業に取り組めるようになりました。
(和歌山県/きびコスモス会 コスモス作業所)

障がい者交流ツアー



イルカツアーの活動を通して、養護学校生と一緒に大きな目的を達成することができ、喜びを分かち合いました。お互いの距離が近づいたと思います。
(福井県/小浜水産高校ダイビングクラブ)

老人給食 サービス事業



共同募金の助成の一部が、給食サービスに活用されていることも地域の皆さまに理解いただけたと思います。今後も継続して事業を行いたいと思います。
(北海道/えりも町社会福祉協議会)

動物とのふれあい 活動事業



重度の重複障がいのある子どもと「動物とのふれあい活動」に参加して、親子ともども活動を満喫させていただきました。本当に楽しかったです。
(山形県/区内町心身障がい児者親子の会 たんぼほの会)

ボランティア 養成講座開催



専門家を講師に招いて傾聴ボランティア養成講座を3日間(12時間)行いました。参加者からは傾聴を学ぶよい機会になったと好評でした。
(群馬県/東吾妻町社会福祉協議会)

自主製品 (ペット用クッキー) 製造用備品整備



新しく購入したオープンのおかげで、クッキーがむらなく焼けるようになりました。商品が売れることで、リハビリ効果だけでなく自信や達成感を得られます。
(東京都/高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム)

外国籍児童 就学前学校体験教室 「びびよクラス」 開催事業



新一年生になる外国籍の子どもたちが、静岡文化芸術大学などの学生から日本語などを学び、給食や登下校の練習をしました。おかげで入学前の不安を軽減できました。
(静岡県/浜松国際交流協会)

やいづ おもちゃ図書館 遊具整備事業



ハンディのある子どもを主な対象とした遊び場であり、親子の交流の場にもなっている「やいづおもちゃ図書館」に新しいおもちゃが入り、みんな大喜びです。
(静岡県/焼津おもちゃ図書館)

移動式融雪機 1台購入



雪が多い倶知安町では除雪に大変苦労します。雪捨て場のない高齢者にとっては死活問題ですので、融雪機はとてもありがたいです。
(北海道/とにも ワークショップようてい)

福祉のまちづくり 支援事業 (新聞録音機器 整備事業)



視覚障がいの方々のため、市の広報等を録音再生するデジタル録音機器を整備することができました。従来のカセットテープよりも便利と好評です。
(岩手県/奥州市水沢区音声訳ボランティアはなこほの会)

安全・安心の 地域づくり支援事業 (防災福祉マップの 作成・避難訓練の実施)



災害時の支援体制を整備することができました。防災福祉マップ作成のための住民懇談会や災害時訓練などを通して、地域の絆が強くなりました。
(岩手県/松園一丁目町会)

街頭募金の風景



石川県

変わる、赤い羽根共同募金

昭和22(1947)年、戦後の厳しい生活の中で、お互いに助け合って生きていこうという強い連帯感から、赤い羽根共同募金は誕生しました。

それから60年以上が経過し、私たちを取り巻く社会状況は大きく変化し、共同募金は、新たな役割を期待されています。

共同募金会では新たに、今地域で課題となっていることを解決するためのテーマ型の募金運動に取り組んでいます。
(詳細は15～17ページ)▶

ここでは、全国の取り組みの一部をご紹介します。その他の取り組みに関しては、赤い羽根データベース「はねっと」
<http://hanett.akaihane.or.jp> をご覧ください。

街頭募金の風景



長野県

地域の課題解決を目的とした共同募金へ

テーマ型募金の取り組み

「じぶんの町を良くするしくみ。」

共同募金会では、地域の福祉課題の解決を目的にしたテーマ型の募金運動を行いました。

その中で、モデル的に共同募金運動期間を3カ月間拡大し、

平成25(2013)年1月から3月まで募金運動に取り組みました。

福井県 2つの手法でテーマ型募金に取り組みました

使途選択(ドナーチョイス)募金/じぶんの町を良くするクーポン [募金実績額 4,401,000円]

①「使途選択募金(ドナーチョイス)」の実施

寄付する人があらかじめ活動分野や事業を選んで募金できる「使途選択募金(ドナーチョイス)」。 「募金の使途がわからない」という寄付者の不安を解消し、安心して募金できると同時に、寄付を受ける活動団体にとっても募金を寄せてくれた方の顔が見えます。そのため、「仲間づくりや活動の輪を広げる」ことが期待でき、募金者と活動団体の「交流」という新たな関係づくりにも寄与しています。

②「じぶんの町を良くするクーポン」の活用

赤い羽根共同募金に一定額以上寄付された方に、福井県内170店舗で使える割引券をつづったクーポン

ン冊子をお渡ししました。寄付者であるお客さまにとっては、寄付するだけでなく、県内全域で利用できるクーポンを使うことでお得に買い物を楽しめます。さらに、店舗側にとっては、クーポンを利用してもらうことにより集客力の向上が図れ、「共同募金に協力している」という社会貢献イメージをお客さまに伝えることができます。

「じぶんの町を良くするクーポン」は、寄付者であるお客さま、クーポン協力店舗、福井県共同募金会の三者が、売り手良し・買い手良し・世間良しの「三方良し」の企画になりました。



使途選択募金のテーマ別ちらし

comment
モデル事業に取り組んだ
福井県共同募金会/認定ファンドライザー
鷹尾 大英さん

共同募金運動の本質は、単にお金を集めるだけでなく、じぶんの町が抱える問題を知って、社会を良くする運動に関わっていただくことにあります。だからこそ、皆さんに共同募金の支援で解決できることを知ってほしいと、「使途選択募金」に取り組んでいます。

県内の小売店は、不況や大型ショッピングセンターの進出で本心に厳しく、寄付どころか募金箱設置も難しい現状です。そんな中で、三方良しの「じぶんの町を良くするクーポン」は、新しい募金ツールとして多くの賛同を得ています。



「じぶんの町を良くするクーポン」協力店舗

ふるサポの実施



共同募金会ではホームページを通じた募金キャンペーンとして、「ふるさとサポート募金」(ふるサポ)に取り組んでいます。平成24年度は、それぞれの地域の課題を解決する活動を具体的

に紹介することで、募金の使いみちがイメージしやすく、寄付いただく皆さまにわかりやすいサイトへのリニューアルを行いました。また、ふるサポ公式Facebookページも新設し、地域

ふるサポ・ホームページ www.akaihane.or.jp/furusapo
ふるサポ公式Facebookページ www.facebook.com/akaihane.furusapo

山口県 地域のみんが安心して暮らせるように

赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」を展開 [募金実績額 1,372,436円]

山口県では、全国平均を10年上回るペースで進む高齢化に伴い、地域で暮らす認知症高齢者を狙った犯罪の被害が増えています。また、障がいのある子どもを抱える家庭でも、高齢化に伴い、将来的な不安を抱えています。企業で働き続けたくても生活を支える方がおらず、仕事を辞めざるを得ない方も多いのが現状です。

これらの方々を守るためには、自己の判断が難しい本人に代わり、さまざまな申請や手続きを行う「成年後見制度」を誰でも利用できるしくみづくりが必要です。しかし、ニーズに対して援助者となる成年後見人等が足りず、予算もありません。そこでこのたび、山口県では宇部市をモデルとして、宇部市社会福祉協議会に専門家のスタッフを配置し、“援助者(成年後見人)”として、大きな受け皿をつくるための取り組みとして、みんなが1口の後見人等となる「一口後見人プロジェクト」を始めました。

個人の方が月々1,000円の寄付にご協力いただく「マンスリースポンサー」、企業への募金箱の設置、

寄付つき自動販売機の設置、そして寄付つき商品の企画などさまざまな手法を通じて、宇部市や山口県を愛する方々と一緒に寄付金を集め、成年後見の課題解決に取り組んでいます。



地元企業より寄付つき商品の売上の一部をご寄付いただきました

comment
モデル事業のボランティア
赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」実行委員
田中 文代さん

障がいの親として、使い勝手が悪い成年後見制度をもっと身近なものにしたいと、プロジェクトに参加しました。以前の共同募金のイメージは、恵まれない人に施しをするという、本当の自立支援とは違うものでした。しかしこのプロジェクトは、困った人に単に「魚を与える」のではなく、「魚の釣り方を教える」ものになっています。

これからは国のお金に頼らず、市民が力を合わせてまちをつくりあげてゆく時代だと思います。そんな変革の力を感じています。



「一口後見人プロジェクト」ちらし

のふるサポ担当者から直接、旬の情報を発信しました。

インターネット募金として、全国どこからでも自分のふるさとを応援できる「ふるサポ」は、誰でも簡単に共同募金に参加できるツールとして今後の展開が期待されています。



(ふるさとをサポートする募金)
全国47都道府県、各市町村まで指定してサポートできる募金です。使う目的も選べます。

沖縄県 豊見城市民の健康を取り戻そう!!

「市民の健康復活プロジェクト」を展開 [募金実績額 1,308,676円]

長寿県として知られる沖縄県ですが、食の欧米化とクルマ社会の浸透で、生活習慣病の有病者率が隠れた社会問題となっています。那覇市の南隣にある豊見城市では、高齢者率は13.9%であるものの、生活習慣病有病者率は50%を超え、これまでの「長寿のまち」が危ぶまれています。

そこで、健康長寿を目指し「市民の健康復活プロジェクト」を実施しました。チャリティー芸能公演等のイベントを活用し



市民参加のチャリティー芸能公演を開催

た募金活動で、社会福祉センターのリハビリ機器のリニューアルを図り、地域住民の健康復活・増進に寄与する取り組みを行いました。

comment
モデル事業に取り組んだ
沖縄県 豊見城市社会福祉協議会
なまじ 仲尾次 りかさん

プロジェクトを通じて、市民の皆さんに健康への関心を高めてもらえることが大きな目標の一つでした。成人式や餅つき大会、芸能公演などの主催者が主体的に募金を呼びかけたことで、若い世代にも健康に関心を持ってもらうきっかけづくりにつながると感じます。健康長寿復活のために、これから長寿市民とともに健康づくりに取り組んでいきたいと思います。

富山県 黒部市 「あったか雪募金」

雪とともに暮らす人々を支える募金活動 [募金実績額 320,237円]

積雪地域である富山県黒部市では、高齢者世帯や一人暮らしの世帯など、過疎地域を中心に除雪の担い手がいないことが大きな困りごとになっています。そこで、雪と共に生(活)きる「あったか雪募金」と題して募金活動を行い、除雪機具の購入や、雪かきボランティアの活動費に役立てました。

「地区一斉雪かきDAY」では、ボランティアと地域とが協働で雪かきを行い、雪おろし道場も開講。地元の皆さんが手料



東布施地区での「一斉雪かきDAY」

comment
モデル事業に取り組んだ
富山県 黒部市共同募金委員会
小柴 徳明さん

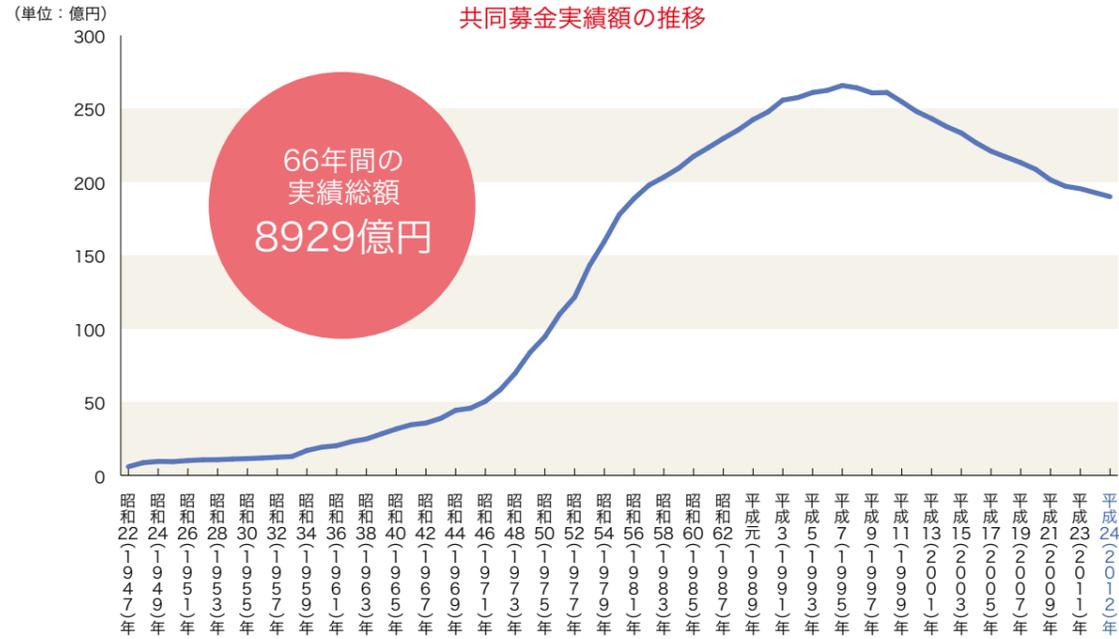
理で応援してくれたり、募金がきっかけで「地域の助け合い」に発展しました。目的が明確な募金活動を行うことで、市民が市民を支えるしくみづくりを目指しています。

comment
モデル事業に取り組んだ
富山県 黒部市共同募金委員会
小柴 徳明さん

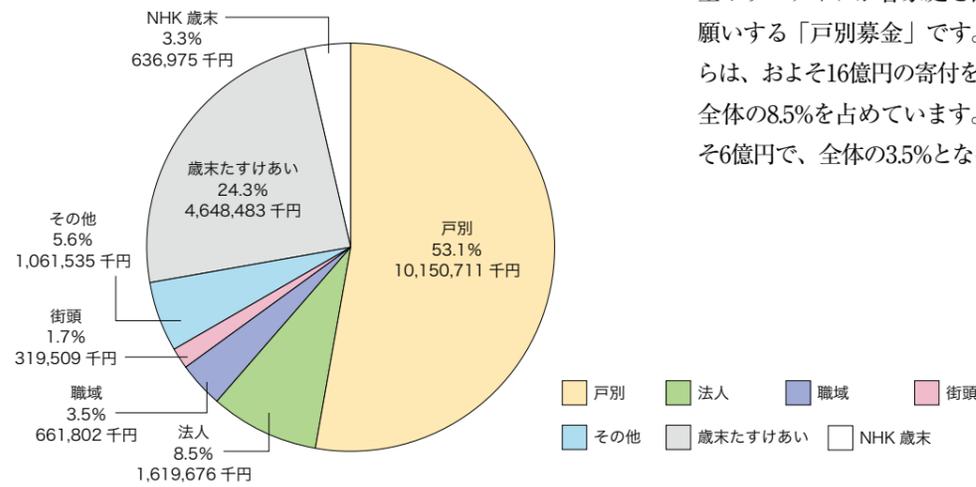
黒部市共同募金委員会では、地域や企業へボランティア募集を呼びかける社会福祉協議会、除雪支援が必要な世帯の情報提供をする行政などと協働し、「あったか雪募金」に取り組みました。黒部の課題を解決するため、共同募金のしくみが役立っています。

共同募金統計（募金編）

赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年に始まり、初年度は現在の貨幣価値にすると5000億円を超えるともいわれる、6億円弱の寄付が寄せられました。以降、時代の要請に応じて募金が増加し、66年間の募金実績総額は8929億円に及びます。平成24年度の実績額は191億円でした。



平成24(2012)年度 募金方法別割合



共同募金の募金方法で最も大きいのは、募金ボランティアが各家庭を訪問して寄付をお願いする「戸別募金」です。企業など法人からは、およそ16億円の寄付をいただいております。全体の8.5%を占めています。職域募金はおおよそ6億円で、全体の3.5%となっています。

平成24年度 都道府県別 共同募金実績額

都道府県	募金総額 (単位:円)	募金方法別内訳		
		赤い羽根共同募金	歳末たすけあい	NHK歳末
北海道	848,686,910	607,801,724	223,437,980	17,447,206
青森	207,131,264	187,175,103	15,741,409	4,214,752
岩手	342,504,445	203,625,210	134,141,867	4,737,368
宮城	396,200,041	305,712,590	81,526,162	8,961,289
秋田	259,191,738	204,762,000	49,262,200	5,167,538
山形	245,550,938	165,405,766	75,950,563	4,194,609
福島	413,697,912	281,677,349	125,096,825	6,923,738
茨城	607,974,203	411,466,905	186,752,441	9,754,857
栃木	323,413,476	235,318,108	77,632,925	10,462,443
群馬	305,767,147	196,662,766	101,839,775	7,264,606
埼玉	971,272,003	603,200,987	349,319,539	18,751,477
千葉	734,948,947	470,010,177	235,829,157	29,109,613
東京	1,266,827,891	591,706,605	590,213,468	84,907,818
神奈川	1,169,129,912	729,155,936	400,221,661	39,752,315
新潟	509,988,294	386,365,194	115,377,020	8,246,080
富山	179,882,076	141,362,657	29,899,372	8,620,047
石川	221,032,856	112,298,848	100,349,094	8,384,914
福井	179,977,946	134,275,378	36,555,740	9,146,828
山梨	166,912,374	149,214,800	11,216,000	6,481,574
長野	452,482,454	434,674,907	0	17,807,547
岐阜	383,506,044	298,031,026	68,285,160	17,189,858
静岡	585,446,218	345,894,281	216,929,922	22,622,015
愛知	930,029,211	744,104,021	129,433,507	56,491,683
三重	317,144,235	269,911,432	31,076,529	16,156,274
滋賀	241,428,671	156,490,504	79,375,495	5,562,672
京都	358,737,407	259,732,729	90,569,481	8,435,197
大阪	734,094,314	530,706,865	164,646,625	38,740,824
兵庫	711,471,131	541,077,201	151,557,154	18,836,776
奈良	181,733,144	124,750,047	44,881,886	12,101,211
和歌山	139,568,333	110,699,114	22,580,490	6,288,729
鳥取	138,623,610	106,648,853	29,438,049	2,536,708
島根	212,461,006	178,071,013	30,454,793	3,935,200
岡山	363,084,450	290,130,446	66,210,742	6,743,262
広島	353,963,714	325,446,074	11,390,163	17,127,477
山口	379,718,364	281,045,423	91,120,610	7,552,331
徳島	143,088,782	114,455,996	21,960,486	6,672,300
香川	273,354,131	235,078,526	34,804,223	3,471,382
愛媛	315,929,975	259,641,982	46,523,629	9,764,364
高知	143,248,078	119,896,673	19,023,050	4,328,355
福岡	780,298,566	659,608,307	99,943,526	20,746,733
佐賀	146,666,676	118,406,159	22,728,434	5,532,083
長崎	224,697,433	176,048,493	41,156,516	7,492,424
熊本	300,096,204	291,395,332	2,557,185	6,143,687
大分	214,643,225	141,051,905	69,158,180	4,433,140
宮崎	178,504,871	145,248,047	26,682,566	6,574,258
鹿児島	293,070,690	250,606,680	37,250,359	5,213,651
沖縄	251,509,401	187,182,456	58,380,910	5,946,035
合計	19,098,690,711	13,813,232,595	4,648,482,868	636,975,248

「赤い羽根共同募金」は、毎年10月から12月までの3カ月間、都道府県ごとに募金運動が展開され、災害時など例外を除き、集まった寄付金は各都道府県内で使いみちが決められます。共同募金は国内の社会福祉の基本法である社会福祉法に規定されていますが、その中で「地域福祉の推進を目的とする募金運動」として位置付けられています。

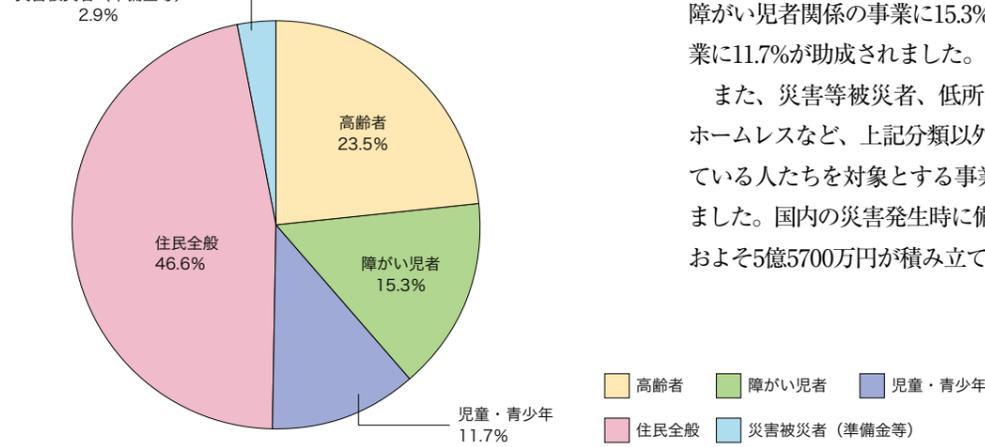
「歳末たすけあい」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の皆さまの参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。

「NHK歳末」は、共同募金の一環として、毎年12月にNHKとの共催で行われる助け合い運動です。昭和26(1951)年に、NHKがその公共性に基づき、放送を通して社会福祉に寄与しようという目的で始めた募金運動で、昭和29(1954)年から中央共同募金会との共催となりました。

共同募金統計（助成編）

平成24(2012)年度 助成分野別内訳

助成総額：167億8639万円
助成件数：57,747件



平成24年度の募金に基づく助成は、全国で167億8639万9274円であり、このうち、高齢者関係の事業に23.5%、障がい児者関係の事業に15.3%、児童・青少年関係の事業に11.7%が助成されました。

また、災害等被災者、低所得者・世帯、長期療養者、ホームレスなど、上記分類以外の地域で支援を必要としている人たちを対象とする事業には、46.6%が助成されました。国内の災害発生時に備えた「災害等準備金」は、およそ5億5700万円が積み立てられています。

助成事業の対象者別内訳	件数 (件)	金額 (円)	割合 (%)
高齢者	14,343	3,940,027,184	23.5
高齢者全般	8,827	2,114,084,708	12.6
要支援・介護高齢者	3,106	1,161,787,500	6.9
高齢者世帯	1,941	556,316,790	3.3
介護者・家族	469	107,838,186	0.6
障がい児者	12,042	2,570,256,059	15.3
障がい児者全般	4,422	1,313,494,860	7.8
知的障がい児者	2,858	523,431,842	3.1
身体障がい児者	2,403	340,292,219	2.0
精神障がい者	1,130	178,816,172	1.1
心身障がい児者	929	177,629,990	1.1
介助者・家族	300	36,590,976	0.2
児童・青少年	11,320	1,959,593,313	11.7
乳幼児	2,818	586,377,704	3.5
児童	4,894	752,317,231	4.5
青少年	1,392	174,427,121	1.0
一人親家族	1,301	214,181,013	1.3
養護児童	612	188,673,585	1.1
遺児・交通遺児	96	11,634,591	0.1
家族	207	31,982,068	0.2
住民全般	19,731	7,827,131,312	46.6
住民全般	14,524	6,091,871,567	36.3
低所得者・要保護世帯	870	719,055,979	4.3
長期療養者	223	53,047,798	0.3
ボランティア	2,206	504,040,925	3.0
在日外国人	31	6,688,982	0.0
中国等帰国者	10	1,825,000	0.0
原爆被災者	49	5,676,790	0.0
更生保護関係者	397	51,222,353	0.3
ホームレス	68	9,653,430	0.1
その他	1,353	384,048,488	2.3
災害被災者（準備金等）	311	489,391,406	2.9
合計	57,747	16,786,399,274	100.0

さまざまな地域課題、社会課題を解決するための活動への助成例（平成23年度募金に基づく実績より）

ドメスティックバイオレンス防止・被害者支援
シェルター運営、自立支援活動など

▲ 支援先 39団体 | 対象者 15,487人

🔪 助成総額 **1,462**万円

いじめ防止
いのちの電話運営、広報啓発活動など

▲ 支援先 146団体 | 対象者 1,284,438人

🔪 助成総額 **4,134**万円

ホームレス支援
路上生活者への食事提供、低所得世帯への緊急対応など

▲ 支援先 1,132団体 | 対象者 941,454人

🔪 助成総額 **90,783**万円

児童虐待防止
虐待防止セミナー、児童養護施設支援など

▲ 支援先 678団体 | 対象者 1,098,555人

🔪 助成総額 **25,035**万円

自殺防止
いのちの電話運営、自死遺族の会開催など

▲ 支援先 67団体 | 対象者 418,622人

🔪 助成総額 **2,606**万円

犯罪被害者支援
支援相談員養成、被害者向けリーフレット作成など

▲ 支援先 15団体 | 対象者 53,251人

🔪 助成総額 **942**万円

災害避難者支援（東日本大震災）
避難者交流・ネットワーク事業、生活用品給付など

▲ 支援先 15団体 | 対象者 3,948人

🔪 助成総額 **674**万円

不登校児童・生徒支援
フリースクール運営、親の会運営支援など

▲ 支援先 71団体 | 対象者 24,034人

🔪 助成総額 **1,130**万円

うつ病患者支援
心の健康づくり講演会、サロン開催など

▲ 支援先 19団体 | 対象者 2,037人

🔪 助成総額 **350**万円

アルコール依存症者支援
断酒会の活動、予防啓発の講演会など

▲ 支援先 17団体 | 対象者 8,643人

🔪 助成総額 **368**万円

薬物依存症者支援
リハビリ施設運営、中高生の薬物乱用防止教育など

▲ 支援先 51団体 | 対象者 67,320人

🔪 助成総額 **1,760**万円

在日外国人支援
日本語教室、多言語トラブル相談など

▲ 支援先 63団体 | 対象者 8,837人

🔪 助成総額 **988**万円

社会福祉法人 中央共同募金会 Central Community Chest of Japan

所在地

所在地／〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階
 電話／03-3581-3846 FAX／03-3581-5755 メール／info@c.akaihane.or.jp ホームページ／www.akaihane.or.jp

役員 ※平成25(2013)年5月24日現在

理事

会長	斎藤十朗	中央共同募金会会長	中井千尋	北海道共同募金会会長	大山義雄	大分県共同募金会副会長
副会長	高井康行	中央共同募金会副会長	齋藤清衛	栃木県共同募金会会長	高橋 博	宮崎県共同募金会副会長
副会長	井畑明男	青森県共同募金会会長	小淵吉信	群馬県共同募金会常務理事	天野隆玄	全国民生委員児童委員連合会会長
副会長	若佐博之	鳥根県共同募金会会長	小海博指	東京都共同募金会常務理事	大橋謙策	日本社会事業大学大学院特任教授
常務理事	中島謙次	中央共同募金会常務理事	西和喜雄	石川県共同募金会専務理事	沖藤典子	高齢社会をよくなる女性の会副理事長
			保田修司	愛知県共同募金会常務理事	佐藤正敏	損害保険ジャパン会長
			乾 繁夫	大阪府共同募金会会長	山田秀昭	全国社会福祉協議会常務理事
			卜部能尚	奈良県共同募金会会長	島村糸子	中央共同募金会事務局長
			八木社一郎	香川県共同募金会会長		

監事

古内保之 岩手県共同募金会専務理事 片山正晴 徳島県共同募金会副会長 森 仁美 同愛記念病院財団理事長

評議員

75名

平成24(2012)年度 財務諸表

一般会計 貸借対照表概要 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	平成24年度末	平成23年度末	増減	科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
流動資産	8,052,062,201	4,214,898,230	3,837,163,971	流動負債	1,016,988,902	1,126,189,147	△ 109,200,245
基本財産(固定資産)	45,417,715	46,774,875	△ 1,357,160	固定負債	109,974,521	102,373,001	7,601,520
その他の固定資産	234,332,845	258,574,569	△ 24,241,724	負債の部合計	1,126,963,423	1,228,562,148	△ 101,598,725
				純資産の部			
				基本金	17,764,459	17,764,459	0
				基金	85,588,944	90,959,905	△ 5,370,961
				その他の積立金	7,078,023,527	3,162,114,707	3,915,908,820
				次期繰越活動収支差額	23,472,408	20,846,455	2,625,953
				純資産の部合計	7,204,849,338	3,291,685,526	3,913,163,812
資産の部合計	8,331,812,761	4,520,247,674	3,811,565,087	負債及び純資産の部合計	8,331,812,761	4,520,247,674	3,811,565,087

一般会計 事業活動収支計算書概要 (単位:円)

科目		平成24年度決算額	平成23年度決算額	増減
事業活動収支の部	収入			
	預り金収入	432,262,743	1,283,151,205	△ 850,888,462
	共同募金以外寄付金収入	5,094,375,102	1,228,959,145	3,865,415,957
	災害たすけあい義援金預り金収入	1,368,293,808	21,378,256,587	△ 20,009,962,779
	災害ボランティア・NPO活動サポート募金収入	593,255,652	2,849,332,369	△ 2,256,076,717
	分担金収入	114,394,538	115,422,291	△ 1,027,753
	事業収入	167,980,176	179,359,741	△ 11,379,565
	雑収入	25,378,191	8,108,487	17,269,704
	引当金戻入	4,135,594	39,333,104	△ 35,197,510
	事業活動収入計 (1)	7,800,075,804	27,081,922,929	△ 19,281,847,125
	支出			
	人件費支出	128,832,176	160,879,420	△ 32,047,244
	事務費支出	37,845,294	29,088,642	8,756,652
	事業費支出	402,462,053	668,924,795	△ 266,462,742
預り金送付金支出	417,409,365	1,266,806,174	△ 849,396,809	
共同募金以外寄付金配分金支出	347,850,861	945,480,475	△ 597,629,614	
配分金支出	1,174,695,190	1,117,387,304	57,307,886	
災害たすけあい義援金送付金	1,368,321,284	21,378,495,970	△ 20,010,174,686	
分担金支出	800,000	800,000	0	
減価償却費	2,326,303	2,322,736	3,567	
引当金繰入	13,011,146	11,313,279	1,697,867	
事業活動支出計 (2)	3,893,553,672	25,581,498,795	△ 21,687,945,123	
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	3,906,522,132	1,500,424,134	2,406,097,998	
収支の部	収入			
	受取利息配当金収入	1,896,686	2,104,208	△ 207,522
	会計単位間繰入金収入	4,744,994	691,038	4,053,956
	経理区分間繰入金収入	292,865,000	542,000,000	△ 249,135,000
	事業活動外収入計 (4)	299,506,680	544,795,246	△ 245,288,566
	支出			
	会計単位間繰入金支出	0	0	0
	経理区分間繰入金支出	292,865,000	542,000,000	△ 249,135,000
	事業活動外支出計 (5)	292,865,000	542,000,000	△ 249,135,000
	事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	6,641,680	2,795,246	3,846,434
経常収支差額 (7)=(3)+(6)	3,913,163,812	1,503,219,380	2,409,944,432	
当期活動収支差額 (8)	3,913,163,812	1,503,219,380	2,409,944,432	
収支差額の部	繰越活動収支差額 (9)	20,846,455	3,228,585	17,617,870
	当期末繰越活動収支差額 (10)=(8)+(9)	3,934,010,267	1,506,447,965	2,427,562,302
	基金取崩額 (11)	5,370,961	5,040,095	330,866
	その他の積立金取崩額 (12)	1,554,515,537	1,146,423,472	408,092,065
	その他の積立金積立額 (13)	5,470,424,357	2,637,065,077	2,833,359,280
	次期繰越活動収支差額 (14)=(10)+(11)+(12)-(13)	23,472,408	20,846,455	2,625,953

都道府県共同募金会一覧表

共同募金会名	所在地	電話
社会福祉法人 北海道共同募金会	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7-1 道立社会福祉総合センター	011-231-8000
社会福祉法人 青森県共同募金会	〒030-0822 青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ	017-722-2169
社会福祉法人 岩手県共同募金会	〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1-3 ふれあいランド岩手	019-637-8889
社会福祉法人 宮城県共同募金会	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28	022-292-5001
社会福祉法人 秋田県共同募金会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 県社会福祉会館	018-864-2821
社会福祉法人 山形県共同募金会	〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 県総合社会福祉センター	023-622-5482
社会福祉法人 福島県共同募金会	〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 県総合社会福祉センター	024-522-0822
社会福祉法人 茨城県共同募金会	〒310-0851 水戸市千波町1918 県総合福祉会館	029-241-1037
社会福祉法人 栃木県共同募金会	〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ	028-622-6694
社会福祉法人 群馬県共同募金会	〒371-0843 前橋市新前橋町13-12 県社会福祉総合センター	027-255-6596
社会福祉法人 埼玉県共同募金会	〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ	048-822-4045
社会福祉法人 千葉県共同募金会	〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター	043-245-1721
社会福祉法人 東京都共同募金会	〒169-0072 新宿区大久保3-10-1 東京都大久保分庁舎201	03-5292-3181
社会福祉法人 神奈川県共同募金会	〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館	045-312-6339
社会福祉法人 新潟県共同募金会	〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ	025-281-5532
社会福祉法人 富山県共同募金会	〒930-0094 富山市安住町5-21 県総合福祉会館	076-431-9800
社会福祉法人 石川県共同募金会	〒920-8557 金沢市本多町3-1-10 県社会福祉会館	076-208-5757
社会福祉法人 福井県共同募金会	〒910-0026 福井市光陽2-3-22 県社会福祉センター	0776-22-1657
社会福祉法人 山梨県共同募金会	〒400-0005 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ	055-254-8685
社会福祉法人 長野県共同募金会	〒380-0871 長野市西長野143-8 県自治会館	026-234-6813
社会福祉法人 岐阜県共同募金会	〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 県福祉・農業会館	058-273-1111
社会福祉法人 静岡県共同募金会	〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 県総合社会福祉会館	054-254-5212
社会福祉法人 愛知県共同募金会	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 県社会福祉会館	052-232-1455
社会福祉法人 三重県共同募金会	〒514-8552 津市桜橋2-131 県社会福祉会館	059-226-2605
社会福祉法人 滋賀県共同募金会	〒520-0044 大津市京町4-3-28 県厚生会館	077-522-4304
社会福祉法人 京都府共同募金会	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375 府立総合社会福祉会館	075-256-9500
社会福祉法人 大阪府共同募金会	〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 社会福祉指導センター	06-6762-8717
社会福祉法人 兵庫県共同募金会	〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 県福祉センター	078-242-4624
社会福祉法人 奈良県共同募金会	〒634-0061 橿原市大久保町320-11 県社会福祉総合センター	0744-29-0173
社会福祉法人 和歌山県共同募金会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビック愛	073-435-5231
社会福祉法人 鳥取県共同募金会	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター	0857-59-6350
社会福祉法人 鳥根県共同募金会	〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ鳥根	0852-32-5977
社会福祉法人 岡山県共同募金会	〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館	086-223-0065
社会福祉法人 広島県共同募金会	〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2 県社会福祉会館	082-254-3282
社会福祉法人 山口県共同募金会	〒753-0072 山口市大手町9-6 県社会福祉会館	083-922-2803
社会福祉法人 徳島県共同募金会	〒770-0943 徳島市中昭和町1-2 県立総合福祉センター	088-652-0200
社会福祉法人 香川県共同募金会	〒760-0066 高松市福岡町2-25-12 県共同募金会館	087-823-2110
社会福祉法人 愛媛県共同募金会	〒790-8553 松山市持田町3-8-15 県総合社会福祉会館	089-921-4535
社会福祉法人 高知県共同募金会	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ	088-844-3525
社会福祉法人 福岡県共同募金会	〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ	092-584-3388
社会福祉法人 佐賀県共同募金会	〒840-0021 佐賀市鬼丸町7-18 県社会福祉会館	0952-23-4996
社会福祉法人 長崎県共同募金会	〒852-8104 長崎市茂里町3-24 県総合福祉センター	095-846-8682
社会福祉法人 熊本県共同募金会	〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7 県総合福祉センター	096-354-3993
社会福祉法人 大分県共同募金会	〒870-0907 大分市大津町2-1-41 県総合社会福祉会館	097-552-2371
社会福祉法人 宮崎県共同募金会	〒880-0007 宮崎市原町2-22 県福祉総合センター 人材研修館	0985-22-3878
社会福祉法人 鹿児島県共同募金会	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター	099-257-3750
社会福祉法人 沖縄県共同募金会	〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1 県総合福祉センター	098-882-4353
社会福祉法人 中央共同募金会	〒100-0013 千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル	03-3581-3846

2012-13 ANNUAL REPORT



Central Community Chest of Japan



社会福祉法人 中央共同募金会
平成24年度

年次報告書

発行 平成25 (2013) 年8月

社会福祉法人
中央共同募金会

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-2
新霞が関ビル5階

TEL.03-3581-3846

FAX.03-3581-5755

メール info@c.akaihane.or.jp

ホームページ www.akaihane.or.jp